

金属3D プリント活用セミナー15 「金属積層造形について幅広く知ろう」

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび令和7年度の締め括りとして、近畿大学 京極秀樹先生による恒例の基調講演と、金属 3D プリント装置、造形支援ツール、金型造形事例等4件の企業プレゼンテーションを行います。皆様この機会に御参加くださいますよう、御案内申し上げます。

日 時:令和8年2月 10 日(火) 13 時 00 分～16 時 30 分

場 所:浜松工業技術支援センター 大研修室 他 (浜松市浜名区新都田一丁目3番3号)

【プログラム】

- 基調講演 金属 AM 技術の新たな動き 13 時 05 分～14 時 05 分 近畿大学名誉教授 京極 秀樹 氏
金属 AM 技術のうち、PBF では高品質の製品を安定して造形する技術開発が重要となっている。一方、BJT および MEX などの焼結ベース AM 技術が注目されている。本講演では、これらの最新動向について紹介する。

- 企業プレゼンテーション 14 時 15 分～15 時 55 分(各講演 25 分)

①	ワイヤ・レーザ金属 3D プリント (DED 方式) における特長と適用事例紹介
	三菱電機株式会社 メカトロ事業推進部 メカトロ新事業推進G 主任 有水 賢太郎 氏 材料に市販の「溶接用ワイヤ」、熱源に「レーザ」を使用した DED (Directed Energy Deposition) 方式の「ワイヤ・レーザ金属 3D プリント」の特長と適用事例についてご紹介いたします。
②	バインダーージェット技術を用いたアルミニウム部品とセラミックス部品の開発事例の紹介
	株式会社リコー 技術統括部 先端技術研究所 IDPS 研究センター 第四開発室 室長 佐々木 隆文 氏 近年、3D プリンターの中でも高い生産性から量産用途への適用が期待されているバインダーージェット技術について、アルミニウムおよびセラミックス材料を対象とした開発内容をご紹介します。
③	設計の常識を変える エンジニアリングデザインソフト nTop のご紹介
	株式会社 NTT データ ザムテクノロジーズ 営業統括部 アカウント営業部 nTop 担当 石川 裕和 氏 デザイン設計の常識を変える、ジャイロイド構造の適用やトポロジー最適化など AM に特化した最適設計と活用事例をご紹介します。
④	金属 AM 及び流体研磨技術を駆使したダイカスト金型の製作技術の紹介
	株式会社キャストック 生産技術課 係長 細渕 夏未 氏 弊社では金属 AM 機と専用の流体研磨機を保有しており、ダイカスト金型用の 3D 積層入子製造の内製化を行っております。これらの機械技術を駆使した技術と製作事例の紹介を致します。

- 見学 造形物の展示、金属 3D プリント 15 時 55 分～16 時 30 分

【参加申込み】

参加費:無料 定員:70 人 申込〆切:2月3日(火)

下記のサイト(右の二次元コード)から参加登録をお願いします。

https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18870

※送付いただいた個人情報は、主催者からの連絡や情報提供・事務処理に利用するとともに、講師に参加者名簿として開示します。



【問合せ先】

浜松工業技術支援センター 材料科 菅野

電話番号:053-428-4156 メールアドレス:hk-zairyo@pref.shizuoka.lg.jp